

# 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年2月15日

事業所名 こどもサポート教室「あいあい」静岡本拠校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・同じ時間枠で部屋の数以上に支援が入っていないかを、ボードに記載したり、利用児の状態を考えたりして適切なスペースの下で受け入れをします。	
	②	職員の配置数は適切である	1	4	・法令で必要とされる配置数されています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	4		・玄関に関しては、児童を受け入れやすくするために、靴箱を退けてスペースの確保を図られたが、掲示物に関しては、狭い空間の中に集まり過ぎている。（☞：職員の立ち位置を考えて、密集しないよう声を掛け合っています。）
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・室内では、決まった時間で消毒と換気を行ったり、児童の取り組んだ制作物を展示したりしながら、清潔面と、子どもの意欲を高められるように気を掛けています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	・お子様の様子をより明確にする為に、職員各自が声を掛け合い、こと細かい記録記載を意識しています。	・（☞：目標設定について、職員間できちんと共有しながら、支援を進めています。）
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		・（☞：毎年の事業所内評価から、改善に努めています。）
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		・（☞：職員みんなで目を通すように伝え合っています。）
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	・第三者における外部員はおいていないが、KSサポートでは静岡県エリアにおける管理者が交互にチェックに入り、厳しいチェックの下で確認運営を行っています。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・児童発達支援では、法人外の施設に訪問したり、研修を受けたりしながら勉強してきています。	
適切な 支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・年度初めに収集させて頂き、またモニタリング時にも再度確認を行いながら、計画変更への鍵として活用しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・お子様の能力が正しく数値化できるものを使って記載を行っており、更新する時は追記し直す部分に書き	

の 提 供				加える等、分かりやすいツールで対応しています。		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1	・家族に支援を希望されるケースや地域への働きかけでは、ペアレントトレーニングを使って対応したり、民生委員との連携も図って関わりを築きました。情報が得られにくいご家庭には、サービス担当者会議を招集しながら、情報を確認し合いながら、施設内外で周知、共有、協力を図っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・各職員が支援を行うに辺り、必ず支援計画を参照しています。その上で、職員間で支援確認を徹底しながら支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	・朝礼時での申し送りに、その日々のプログラムの状態を常に話し合っています。	・（☞：他にも、アセスメントや過去のモニタリングの読み直しを職員全体で確認し、職員みんなで意識を高め合っています。）
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・成長に合わせた形での支援を追求して、日々工夫を加えています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	1	・お子様同士の状況を踏まえながら、集団と個別を組み合わせる活動を進めています。各お子様への計画も、その辺りを考慮しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	・朝礼時に必ず、確認を行っています。支援では、個別支援にて一対一になり易いですが、環境の構成で職員互いが補充し合い展開するように努めています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		・支援終了後に時間がある時は、その都度行い、できない時には、翌日の朝礼時に行うようにしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	・記録記載の徹底は、きちんと行っています。また、記録は次の支援の際にも役立つように早めに記載するように伝え合っています。	・（☞：今後は、職員内で研修を行いながら、より上手な言葉の使い方を見直して、よりわかりやすい記録記載を進めていきます。）
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・モニタリングには、常にお子様を様々な領域から見直して記載し、計画の改定に直結するように活用しています。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	・サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者や担当を受け持っている支援員が参加しています。また、相談支援事業所とは適宜な連絡も保っています。新規に契約されるお子様には情報交換はいつも以上に丁寧に行ったり、担当者会議等を各々で参加や開催要請したりして、適切な情報のやり取りをいち早くできるようにしています。		

との連携	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	3	・保健師とは、必要時に相談支援事業所を介して、きちんとしたお話が持たれるようにシステムを構築しています。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5		・(㊦: 今後は、そのような児童さんにも関わられるように研修等で理解を高めています。)
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5		・上記同様
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		園との関わりに難しさを感じるお宅とは、相談という形で場を作り、その案件を相談支援事業所と共に、保育所、子ども園などつながりを作って、依頼や要請などを伝えて合っています。	
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・進学する幼児さん宅とは、相談という形で場を作り、その案件を相談支援事業所と共に、小学校などへ依頼や要請などを伝えて合っています。	
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・発達支援センターと定期的な研修に行きながら助言を受けています。	・(㊦: 研修での関わりのみになり掛けているかもしれないので、今後は積極的な質問も行いたいと考えています。)
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5	・職員や児童発達支援管理責任者が、園や施設へ見学に行くようにしています。	・(㊦: 今後は、利用されているご家庭の方とお話をしながら、交流の機会の在り方も考えていきます。)
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		(㊦: 今後は、あいあいという事業所を理解してもらう為に積極的に参加していきます。)
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・支援者がフィードバックを通して現状の様子や課題をきちんと伝え合っています。専門性を踏まえた内容をお伝えしています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		5		・(㊦: 今後は、ご家庭のお話を伺いながら、ペアレント・トレーニングも積極的に加えた家族支援を提供していきます。)
保護者への説明責	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	・新規契約時にきちんと行いつつ、室内にも掲示しながら対応しています。加えて、求められれば説明できるように配慮もしています。	
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	1	・支援内容と今後のねらいに対しては、モニタリングや直近の状況、アセスメントやお子様の成長具合等々、様々を吟味して、計画を作成しながら説明も行っています。また、説明後に親御様の要望を記録し、再度家庭要望の確認にも励みながら、	

任 等					支援計画の向上と支援そのものへの反映にも行うよう配慮しています。	
	㉔	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2	・子育ての相談には、児童発達支援管理責任者や経験の深い職員が行うようにしています。	・（☞：職員みんなが子育てへの理解を深めて、誰でも相談にのれるようにしていこうと思います。）
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		・（☞：今後は就学前などに保護者会などを行って、親御様同士の横のつながりを築いていきます。）
	㉖	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	・相談と申入れは「問題」と判断した場合に、早期サービス担当者会議の要請と開催を提示するなどして、迅速さへの意識をもって対応に当たっています。今年度に関しては、地域状況も十二分に把握できたので、より動きは早くなったと考えています。	
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	4		・（☞：次年度には会報を検討しながら、活動概要などの新しい発信には、親御様へのフィードバックなどの場を借りて、その都度伝えていきます。）
	㉘	個人情報の取扱いに十分注意している	5		・個人の写真はもちろん、名前が出ない事や素性すら気に掛けながら、施設間で管理するよう徹底しています。	
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	・声掛けに関しては、わかりやすく短めな声掛けで対応するようにしています。また、簡単なメモも取り交わす等して、親御様の様子を鑑みながら対応しています。	
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	・ブログや Line で活動の内容を配信しています。	・（☞：少しずつ地域の方にもつながりができるように、あいさつや宣伝活動を行っていこうと考えています。）
非 常 時 等 の 対 応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		・マニュアルに関しては、業務継続計画も含めて用意されているものがあります。訓練も、その都度行っています。	・（☞：マニュアルに対しては、親御様への周知が足りませんでした。今後は掲示の仕方を見直して、より伝わるようにしていきます。）
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		・月1回のペースで避難訓練はなされており、消火（年2回）、通報訓練（年1回）も適宜に実施しています。	
	㉝	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		・アセスメント等で確認しております。	
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4	・アレルギーの在るお子様はおり、アセスメントなどでの理解に留まっています。	
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・虐待・身体拘束委員が、その都度に確認を行うように時間を割き、話し合いを行っています。	

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待・身体拘束委員が研修報告等を行ったり、研修で行った事を職員に活用、実践したりして、施設内職員へ理解を深めるように対応しています。</li> </ul>	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に説明をし、また計画の説明の時にも状況に応じて伝達するようしながら、記載も行うようにしています。</li> </ul>	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名： こどもサポート教室「あいあい」静岡本部校

保護者等数（児童数）：18名

回収数：12名 割合：70.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	2	1	0	・もう少し広い部屋の方が安心して遊べる	・支援室においてある机やイスなどの調整しながら、スペースの確保を行っています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	3	0	0	・未就学児から小中学生まで幅広い年代の子が居るため、その年齢に合わせた関わり方がもう少しあるといいと思った。 ・多いくらいでいつも助かっています。	・法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士1名以上配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	4	0	0	・ドアが少し危険に感じることがあります	・ドアの回りには、職員が間に入って、いつも不安無く出入りができるようにしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10	2	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	2	0	1		・相談支援事業所の計画書を保護者からのモニタリングを基に、全職員にて会議を行いながら個別支援計画書の作成をしています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	2	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	3	0	1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	5	3		・現時点で交流の予定はありませんが、ご要望があれば検討していきます。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	2	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11	1	0	0		

明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	3	1	3	・褒め方や接し方を直接指導されたことはないが、授業に同席して子どもの様子を見学している為、そこから学べる親の対応は多い。	・ペアレント・トレーニングや子育て支援などの相談には、ご依頼があれば、その都度児童発達管理責任者が対応したいと思います。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	1	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	3	0	0	・まだ入所して日が浅い為、そこまで明確な面談等は行っていない。	・今後、ご質問や子育てで不安の事がありましたら、いつでもご相談をお受けしていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	5	3		・保護者会などの開催に置きましては、今後は就学前のタイミングなどで行って、親御様同士のつながりを築けたらと考えています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	4	0	0		・今後は相談への迅速さを考えて、支援を行った職員や児童発達支援管理責任者が、すぐに親御様の様子を伺いながら、お話を聞いていこうと思います。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1	0	1		・ひきつづき、毎回の支援後のフィードバックを充実させてまいります。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	2	0	5		・ホームページにおける新規の更新は、親御様へのフィードバックなどの際に、その都度お伝えしたいと思います。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10	1	0	1		・今後も、個人情報の取り扱いについては十分に留意してまいります。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	2	0	4	・周知等はしていると思うが、施設で訓練等は入所して日が浅い為まだ行っていない。	・月1回の防災訓練を行っています。 ・今後は、解りやすい場所にマニュアルをおいたり、管理者がフィードバックに入ったりして、すぐ説明できるようにしていきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2	1	4	・子どもたちともそのような訓練を行っているのかわからない。	・今後は行った訓練を、より「見える」ような伝え方（掲示をしたり、伝え方を工夫して）でお伝えしていきたいと思います。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	9	2	0	1	・子どもはあいあいさんへ行くことをとても楽しみにしています。1対1でじっくりと先生が向き合ってくれることは、幼稚園ではないことなので、とてもうれしいのだと思います。夕方まで疲れて活動に取り組みなかつたり、こだわりが出たりしても、暖かく見守って対応していただき、とても感謝しています。これからもよろしくお願い致します。	・このようなうれしいお言葉を頂き、本当にありがとうございます。更に、「楽しく」通ってもらえるような支援を行っていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	10	1	1	0	・新任の先生方のレベルがこれからよりあがると思います。	・新任職員さんには、いろいろな研修への参加を呼び掛けて、より大きく成長できるよう頑張ってもらおうと思います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。